

【研究課題】

医師の臨床研修評価関連データの分析（審査番号 2020363NI）

【研究機関名及び研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院 医学系研究科 医療コミュニケーション学分野
研究責任者 木内 貴弘
(東京大学大学院医学系研究科 医療コミュニケーション学分野 教授)
担当業務 データ解析

【研究期間】

データ登録・対象間：2004年4月1日～2023年3月31日

研究期間：2022年3月1日～2023年3月31日

*本研究は長期にわたる研究を計画しています。記載の研究期間終了後も継続する場合は、研究期間延長の申請を行う予定です。

【対象となる方】

EPOC、EPOC2 に情報を入力したことのある医師、医療従事者

【研究の意義】

データに基づいた臨床研修の定量的評価が可能となり、今後の臨床研修内容、評価制度の改善に役立つ。

【研究の目的】

EPOC、EPOC2 を利用した研修医がいつ、どのような環境で、どのような症例や手技を経験したかの実態データ、及びそれに対する本人や指導医・その他医療従事者の評価データを利用して、日本における医師の卒後臨床研修の実態を把握するとともに、医師の卒後教育、評価システム双方の改善点、改善策を見出し、今後それらをより良いものとするための提案につなげます。

【研究の方法】

研修医や指導医、その他医療従事者が EPOC、EPOC2 に入力した、臨床経験（症例、手技等）、研修医に対する評価データ（自己評価、指導医による評価、その他医療従事者による評価、指導医に対する評価データ（研修医による評価）、研修施設に対する評価デー

タ（研修医による評価）について、EPOC、EPOC2 を利用した全ての人の匿名化されたデータを研究者が統計ソフトを使用して解析します。

これまでの診療業務内で EPOC、EPOC2 に入力されたデータを収集して行う研究ですので、対象者の皆様に新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集したデータは、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。収集したデータは研究責任者、分担者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。本研究に使用するデータは、個人情報とは一切連結できないようにした状態で 2022 年 3 月 1 日以降に 本研究の研究者へ提供されます。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表、EPOC2 参加研修プログラム、及び関連官公庁へ提供します。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後 5 年間保存されます。保管期間終了 後には、データを完全に消去することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

この研究に関する費用は、科研費 基盤研究(A) 「医師臨床研修と連携可能な卒前の臨床教育評価システムの開発・運用・評価とデータ分析」から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2021 年 12 月

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野教授

木内 貴弘

<https://www.umin.ac.jp/hc/map/contact.html>